

## 【事務事業事後評価表の見方】

実施

平成27年度

## 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	評価対象となる事務事業の名称です。		所管課 【2】	実施している部署と評価者です。
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章) 主要施策(節) 施策区分 (市民意識調査結果)	事務事業が市の総合計画の施策体系のどこに位置付けられているかを表しています。また、施策区分まで位置付けられている事務事業は、市民意識調査による市民の施策区分に対する重要度・満足度の調査結果に基づいて【A】 □【A】重点改善領域 □【B】重点維持領域 □【C】観察領域 □【D】維持領域	重点施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当	
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	市長公約 新市建設計画 実施の根拠となる法令や計画等です。 その他計画	年度予定 : 金額 千円】 】 □該当なし		
事業区分 【6】	整備事業 事務事業が該当する性質にチェックが入ります。	施設の維持管理事業		
会計区分 【7】	事務事業の会計区分です。	企業会計【 】 款 項 目 細目		

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	事務事業の実施が必要となった社会的背景、現状の問題点、ニーズなどを記載しています。
対象(誰、何に対して) 【9】	事務事業を実施することで効果を及ぼそうとしている人や団体、物などの対象を記載しています。
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	事務事業を実施することで、上記の対象をどのようにしたいのか、最終的に目指す状態・成果を記載しています。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	事務事業を実施する期間です。建物建設など事業の実施期間が限定されているものは期間限定複数年度に該当します。	□期間限定複数年度 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	事務事業を実施している主体にチェックが入ります。	□その他【 】
実施方法 【13】	事務事業の実施方法です。「その他」には指定管理者制度などが該当します。	□その他【 】
事務事業の具体的な内容 【14】	事務事業の具体的な内容や手法を記載しています。	⇒ 事務事業を構成する細事業 【15】 ① 事務事業を構成する細事業です。重要性が高い順に記載しており、6つ以上ある場合は上位5つを記載しています。 ② 細事業とは予算事業を構成する最小単位の事業や業務のことです。

## 《事務事業実施に係るコスト》

			H24年度決算	H25年度決算	H26年度決算	H27年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金 %	事業費と正職員の人工費の合計額を事務事業実施に要した費用(投入コスト)として記載しています。				
		県支出金 %					
		起債 %	事業費を財源ごとに記載しています。				
		受益者負担	国庫支出金・県支出金は国や県からの補助金で、起債は事業を行う際の借入金のことです。				
		その他					
		一般財源					
		【16】小計	過去3年度の決算額と当年度の予算額を記載しており、【11】の事業期間で「期間限定複数年度」に該当するものは、「全体計画」欄に事業期間の全体事業費額を記載しています。		0	0	
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)					
	職員人件の費	職員人工数	正職員の人工(にんぐ)数をもとに正職員の人工費を算出しています。		5,424		
		職員の年間平均給与額(千円)	人工数とは事務事業の実施に要した労働量のことで、1人が1年間勤務した労働量を「1.00」に設定しています。		0		
合 計			0	0	0	0	

## 《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画
①							
②		予算や人員などの行政資源を投入して、どれだけの活動を行ったのか、どれだけの行政サービスを提供したのかを細事業ごとに指標を設定して記載しています。過去3年度の実績値と当年度の計画値を記載しています。					
③							
④							
⑤							

## 《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標	
			H24実績	H25実績	H26実績		
1	事務事業を実施した結果、対象がどのような影響や成果をどれだけ受けたかを指標を設定して記載しています。過去3年						
2							

## 《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定)	実施主体の妥当性 【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし
	目的の妥当性 【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし
	廃止・休止の影響 【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし
有効性 (判定)	目標の達成度 【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成
	成果向上の余地 【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし
	上位施策への貢献度 【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分
効率性 (判定)	コスト低減の余地 【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし
	民間の活用の余地 【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし
	執行方法改善の余地 【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし
公平性	事業統合の余地 【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし
	受益者負担の余地 【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし

## 《今後の方向性と改善》

今後の方向性 【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止】
判断理由及び見直し・改善の具体的な内容	上記の活動実績、成果の達成度、各項目の評価等を踏まえて、所管課として事務事業の今後の方向性を選択し、判断理由や事務事業の見直し、改善の具体的な内容を記載しています。
昨年からの見直し・改善状況 【32】	昨年度の評価結果を踏まえ、どのような見直しや改善が行われたかを記載しています。

## ■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【33】	事務事業に対する評価責任者(課長等)の所見を記載しています。	評価責任者
----------------------	--------------------------------	-------